

各地域で毎年自主防災訓練が実施されています



①起震車による地震体験
②煙の中から避難
③備蓄食料品で配食

④初期消火訓練
⑤倒壊家屋からの救出
⑥土嚢を作る

自分たちの地域を守るために

志楽ダイヤモンド協議会 理事長 崎山 正美さん
 泉源寺自主防災部 副部長



▲崎山正美さん (66歳、泉源寺)

「隣近所で助け合うことが大切だ」との強い思いで、志楽ダイヤモンド協議会の理事長として、また、泉源寺自主防災部副部長として自主防災組織の立ち上げと活動に積極的に取り組まれている崎山正美さんにお話を伺いました。

自主防災組織の結成

志楽地域も高齢化が進み、災害などから自分たちの命を守るためのしくみが必要だと思っていました。大規模災害時など行政だけに任せられない場合も想定されますから。

そこで昨年10月、自治連合会である志楽ダイヤモンド協議会として、志楽小学校で校区全体の防災訓練を初めて実施し、日ごろの備えの必要性について参加者の皆さんと意見を共有しました。そのような中、今年2月に泉源寺自治会として念願の自主防災部を立ち上げることができました。

泉源寺自主防災部の活動

泉源寺自主防災部での活動としては、部員25人の班分けを行い、まず1班1活動として活動内容を考えてもらうほか、消火栓など防災設備の位置確認や過去に土砂崩れが起こった記録のある場所の巡視、必要な防災資機材の検討・準備など、できることから始めています。

東舞鶴高校と協定を締結

東舞鶴高校は泉源寺地区にあり、日ごろから定期的な会合を開いています。その縁もあり、昨年「災害時における避難所としての使用に関する協定」を締結し、普段から鍵を預かり、大きな災害の時には自分たちで体育館の鍵を開けて自主的に避難できる体制を作りました。

その他にも、泉源寺集会所は市の指定する避難所ではありませんが、状況に応じて避難できるようにしています。もちろん市役所など行政の支援も

必要ですが、ゲリラ豪雨や地震などの急激な災害のときには、行政の対応にも限界があるので、自分たちでできることは自分たちでやるのが大切だと思います。

これからの活動

志楽ダイヤモンド協議会としては、まず各自治会に自主防災部を作ってもらいたいと思っています。大きな対応は自主防災会で、きめ細かい対応は各自治会の実情にあった自主防災部と、お互いの強みを生かせれば相乗効果となり、より良い組織になると思います。

自主防災部・部の役員だけが頑張るのではなく、地域住民全員にどのようにして自主防災の重要性を伝えるのか、そして活動に参加してもらえるのかを検討しているところです。

自主防災組織の活動は、まだまだ始まったばかりですが、なんとか隣近所で助け合える形になるように、これからも頑張りたいと思っています。



▲災害時に備え東舞鶴高校の体育館の鍵を預かる

地域の力がみんなの命を救う

大規模災害が発生した場合、消防や自衛隊がすぐに救援に駆け付けられるかどうかは、先の大震災などの状況を考えていけば容易に想像できます。

舞鶴市でも平成16年の台風23号では、自衛隊、海上保安庁、警察など防災関係機関の救助活動が自然の力に阻まれました。

大規模災害時にこそ、普段からの地域のコミュニケーション、そして、自主防災組織の活動が力を発揮するので

自主防災組織が結成されていない地域は、自治会の会合などで地域の現状

に合った方法で、できるところから取り組みを始め、自主防災組織を結成しましょう。危機管理・防災課や各消防署では、自主防災組織の結成や活動について、相談や助言を行っています。普段からの地域の防災活動が、万が一のとき、あなたの命はもとより、家族や隣近所の人の命を救うことになるのです。

▼自主防災組織・活動に関するお問い合わせは、危機管理・防災課(☎66・1089)へ。

お知らせ

全国一斉の緊急情報伝達試験

市では、緊急情報伝達試験を下記のとおり実施します。これは、全国瞬時警報システム(J-ALERT)を通じて国から送られてくる緊急情報を、「防災行政無線」や「まいづるメール配信サービス」を用いて市民の皆様にお知らせするものです。ご理解とご協力をお願いします。

- 【日時】 9月11日(水) 11時と11時30分の2回
- 【内容】
 - ◆防災行政無線…「これは、試験放送です」「こちらは、ぼうさい舞鶴市です」「(チャイム)」を放送
 - ◆まいづるメール配信サービス…「国民保護情報」「これは試験放送です」「対象地域:全土区域」を送信
- ▶詳しくは、危機管理・防災課(☎66・1089)へ。

